

外部有識者とのダイアログ

帝人グループは、2020年10月13日に、経済人コーポラティブ日本委員会（CRT Japan）主催の「ビジネスと人権に関する国際会議」において、CSR管掌が海外人権有識者と帝人グループの人権の課題と取り組み状況について対話を行い、以下のフィードバックを受けました。指摘された課題については、グローバル第一線の外部有識者とダイアログを実施して助言や評価を受けながら改善を図っていきます。

- 帝人グループは、人権方針に基づく人権デューデリジェンスの取り組みや、人権に関する課題が明らかになった場合、「ゼロファー・プロジェクト」のように他社を含めて改善する姿勢が素晴らしい。
- 今後、帝人グループがSDGsの達成に向けてどのような課題にチャレンジし、その成果を出していくのか、経営戦略のストーリーを知りたい。
- World Benchmarking Allianceは、影響力のあるSDG2000社をKeystone企業として選定しており、帝人はSocial（人権）とCircularの分野で登録されているため期待している。
- 帝人グループは人権デューデリジェンスや救済の過程を明示するなど誠実な情報開示に取り組んでおり、成果を上げている企業として今後も注目していきたい。



人権に関する外部有識者とのダイアログを実施（2020年10月13日）

また、定期的にCRT JapanとCSR管掌参加によるダイアログを開催しており、帝人グループが取るべき対応の方向性について議論を重ねています。

帝人グループによる人権デューデリジェンスの状況（CRT Japanコメント）（PDF：725KB） [📄](#)